

# 道退教空知

空知支部ニュース (題字 安宅 隆氏)

2012年7月15日 NO122号

全北海道退職教職員の会空知支部

略称 道退教空知支部

〒073-0027

滝川市東滝川町4丁目16-27

松山正敏方

Tel・Fax 0125-28-2408

e-mail em55ef@bma.biglobe.ne.jp

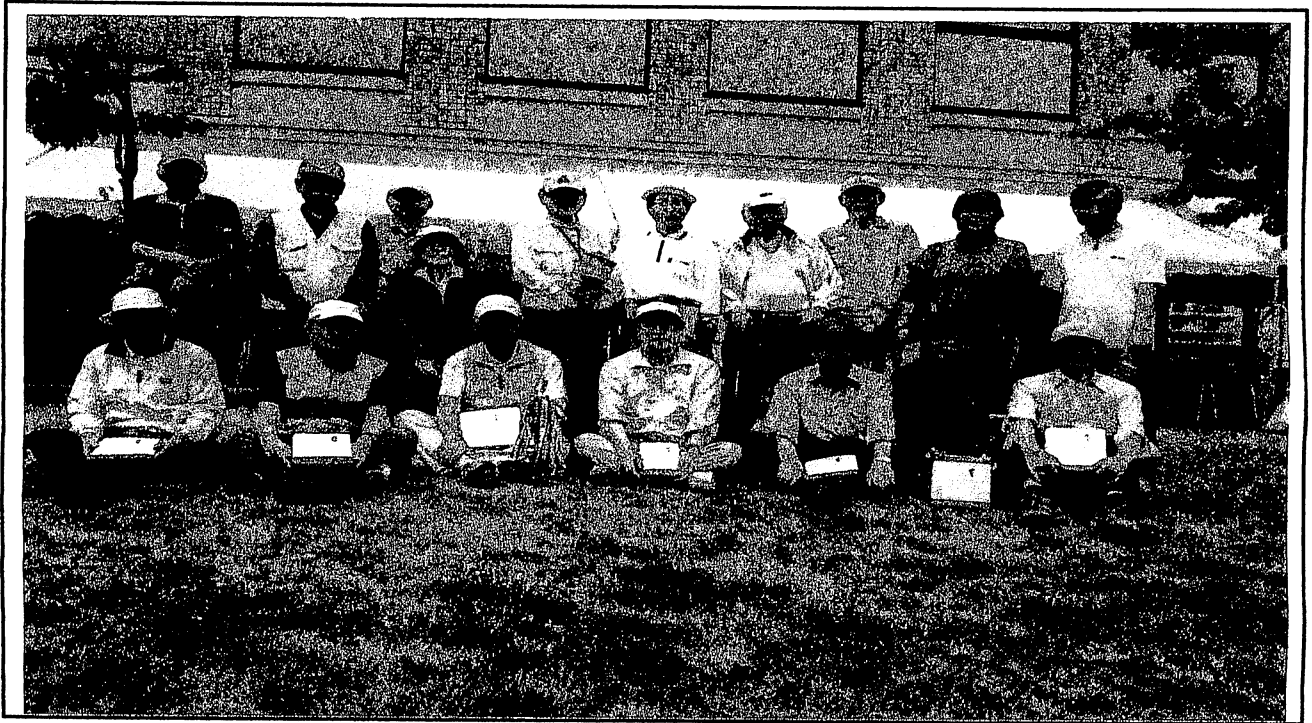
7月2日(月)午前9時半から、美唄市PG場(ゆーりん会館側)で20周年記念第17回パークゴルフ大会が開かれました。参加者は18名(プレーヤ15名、応援3名)で、4組に分かれ熱戦を展開しました。表彰式後各自で昼食をしながら交流し、それぞれが温泉に浸りました。役員の方々は、同会場にて役員会で記念行事の話し合いを行いました。

## 今年度優勝 藤原久雄さん ホールインワン賞 小川憲二さん

支部結成20周年記念第17回パークゴルフ大会結果

Aコース(18ホール) Bコース(18ホール) 2回プレーの成績記録

順位	競技者名	組	1回目	2回目	合計	ペナルティ	修正	賞	備考
1位	藤原 久雄		54	50	104		104	優勝	
2	小川 憲二		51	50	101	5	106	準優勝	前年度C
3	宮林 忠雄		56	59	115		115	3位	
4	大川 武美		59	56	115		115		
5	越 昇		63	53	116		116	ラッキー賞	
6	吉田 昭三		59	58	117		117		
7	鎌田 敏昭		59	58	117		117		
8	加藤 廣一		60	58	118		118		
9	佐藤 重夫		61	58	119		119		
10	大町 汪幸		58	68	126		126	ラッキー賞	
11	松山 正敏		67	62	129		129		
12	片山 多美子		75	66	141		141		
13	手島 トモ子		72	70	142		142	B・B	
14	吉田 朝雄		83	73	156		156		
	富沢 和雄		64						
								ホールインワン賞	小川憲二
応援	松山 和子	井上 麗子			佐藤 明彦				



終了後の記念撮影



小川さんのハンディキャップ(+5)により藤原さんがトータルで1位に。支部長の吉田朝雄さんから優勝トロフィーが授与される。思わぬ初優勝で笑顔もちょびり照れ気味。でもやっぱり嬉しいと表情を崩します。

吉田さんも支部長として公式の初仕事。大会開会式では「けがのないようプレーをしましょう」と挨拶。全員無事にプレーを終了することができました。副賞は北菓楼のお菓子です。

右中央のプレーヤーは誰でしょう？1928年生まれの富沢和雄(84才)さんです。まだまだ負けられんとプレーをしました。宮林さん、鎌田さん、越さんの70代後半組と回りました。1回目では64のスコアでした。参加者中10位でした。2回目の途中でプレーを中止し休憩。ちなみにこの組の成績は、宮林さん3位、越さん5位、鎌田さん7位と皆さん好成績でした。



## 中野先生の思いで

深川支部 山口孝一

7月1日の夜11時30分頃、妻と旅行から帰ってきて、ほっと一息ついて、連絡のプリントをみると「中野先生の訃報の知らせ」が書いてあった。急にいろいろな事が頭をめぐりました。

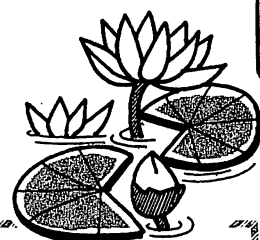
年代が少し違うので、中野先生との関わりが少ないのですが、すごくお世話になったようにいつも思っています。改めて思い出してみると、空知教組ができた時のように思います。先生が深川支部の支部長で私が事務局長を担当してからです。いつもしっかりした考えを思っ支部を引っ張ってくれました。また優しく若い仲間を導いてくれました。所謂大人物と言う雰囲気を持っていました。支部長として私に言っていたのは、定期的に会議を持つこと、会議にはできるだけプリントを用意すること、必ず実践することでした。原則的な闘い方を教えていただきました。

演説会や講演会に行くときは、先生の車に同乗させていただいたのですが、いつも助手席に奥様を乗せ、楽しい会話を聞かせていただきました。その会話の中で「夕食は5時前に撮る」とのことでした。夕食後また活動するとのことでした。また、長女の方が結婚することになった時、「山口君、困ったよ。やりづらいな。」と言うのです。話を聞くと長女の夫になる人が教育長さんの息子さんで、教育長交渉がやりづらいということだったのです。縁があつて、娘さん一家は、私の隣に住んでいます。先生が元気な頃、奥様と孫さんの顔を見にきていたことを思い出します。

深川の民主団体の全てに関わりを持ち多大な影響を与えた中野先生！！平和運動であの大きな声で発言する中野先生の姿を忘れられません。

中野先生！ ありがとうございます。安らかにお眠りください。

2012年 7月7日



{再録} 支部ニュース60号(2002年9月15日)から一部抜粋

### 中野智行さん深川市長選に立起

9月22日告示、29日投票で行われる深川市長選挙に深川市を愛する市民の会から同会の事務局長の中野智行氏(66)無所属・日本共産党推薦が立候補を表明しました。すでに三選出馬を表明している河野順吉市長と一騎打ちとなる見込みです。

中野氏は「現市政は、レジャー型温水プール、道の駅など市民の批判に耳をかさず、大型箱物建設をすすめ、市の借金は倍になり、敬老年金、訪問サービスの削減や廃止などお年寄りに冷たい行政と批判し、福祉や教育、くらし重視の市政に転換を」と訴えました。また中学校教師として生活指導や非行問題、平和・労働運動にも熱心に取り組んできました。・



## 新会員迎える！ 種市倫江さん（美唄ブロック）が仲間に！

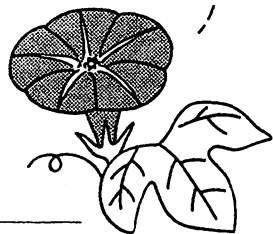
結成 20 周年を会員増で迎えようということで、美唄ブロックが新しい会員を 1 名迎え入れました。5 月の役員会で、身近に会に入ってくれる人がいないか話し合いました。まだ声をかけていない方々が複数います。各ブロックで声・働きかけを強め仲間に迎え入れましょう。

署名「教育費無償化」と「ゆいとどいた教育」をすすめて。

## 2013 年度政府予算にむけた文部科学省概算要求に対する要請署名

各ブロックに 2 枚（10 筆）程度の署名用紙をお願いいたしました。さっそく美唄ブロックの大沼さんから用紙が送られてきました。ありがとうございます。署名が埋まりましたら、事務局へ届けて下さい。宜しくお願いいたします。

滝川民報 2250 号（2012・7・8）から抜粋



# 音楽のこみち

♪ 10 ♪

この二週間のうちに、元同業だったお二人の先輩を送る葬儀に参列しました。

仏教の宗派は違っても、お経は葬儀には欠かせないもの。

「うた」は「うたえ」から発展したものと  
言われています。

音楽の分野では、いろいろな分け方をしていますが、「宗教音楽」という分け方もあって、「お経」は「声明」と言われ、仏教音楽とされています。

「声明」は仏陀（ブツダ）や先達をたたえるもの、その業績を述べるもの、その名を連呼するもの、法会の趣旨を述べるものなどがあり、漢語のもの、日本語のものがあります。多くは無伴奏ですがいろいろ打楽器が用いられ、独唱または独唱と斉唱です。旋律は同じでも、僧侶が五人・十人ともなると、

合唱とはまったく異なる響きを醸し出します。

「声明」は、平曲（平家物語を語る琵琶法師の音楽）、謡曲（能の台本とその音楽）、浄瑠璃（平曲から発展し人形と結合し人形浄瑠璃となった音楽）、民謡（農耕や漁業などの生活の中から生まれた民衆の音楽）などの日本音楽に影響を与えました。

## 「声明」 (しょうみょう)

ちなみに、先ほどのおひとりの先輩の葬儀では、故人の希望でお経はいらないから「千の風になつて」を歌ってほしいとのことでした。親族の方々の相談の結果、参列者に歌詞カードを配り、最後の葬儀委員長のあいさつの後にご唱和をお願いしたところ、アコーデオンの伴奏のもと会場いっぱい響き渡り、荘厳な雰囲気の中に終わることができました。

(朝)

### お知らせ

堀江満壽子さんの夫武則さんが7月2日 逝去されました。お悔やみ申し上げます。



中央は手島トモ子さんです。まだまだ元気  
と大川さん、大町さん、吉田朝雄さんと回りました。今回は女性2人が参加しました。



ねらいを定めナイスショット。「1年ぶりのプレー」と言いながら要所要所好プレーの片山多美子さんでした。

少々の雨なら決行しようと天気を気にしながらの大会でしたが、雨も降らず熱々の日ざしもなく、プレーをするには最適でした。当初22名の参加でしたが、都合で4名が不参加になりました。会場に着くや皆さんは、すぐプレーをという意欲満々の雰囲気でした。

1組のチームは他の組より早くプレーが終了したので、別コースでプレーをしました。そのとき加藤廣一さんがホールインワンをしたそうです。でも大会コースでなかったため賞の対象にはなりませんでした。(残念) 最後に定期的にこうした行事を開催してもいいかなと思いました。

## 結成20周年記念事業の内容が決まる

とき 9月30日(日) ところ 奈井江温泉

7月2日の役員会で、9月30日(日)午後1時から奈井江温泉北乃湯にて支部結成の記念式典や祝宴、レクリエーション、作品展示会などを行うことが決まりました。多くの会員の参加を心まちにしています。事業計画の詳細な内容は、開催要項(別紙)をごらん下さい。

7月中旬から早速 記念誌「絆」4号の発行作業を開始します。この会員通信と一緒に原稿用紙が届けられます。400字原稿用紙2枚です。(計800字)これが1ページになります。オーバーも可です。余分な原稿用紙はブロック役員宅にあります。内容は自由です。近況、随筆、旅日記、コラム、短歌、俳句、川柳、あるいはスケッチなどなど。記念誌はB5サイズの大きさです。また「絆」4号の表紙の題字「絆」、表紙を飾るデザインや絵などを公募します。お寄せ下さい。なお採用時には縮小して掲載されますのでご了承下さい。

原稿締め切りは 8月20日、参加申し込み締め切りは 9月15日です。

2名の先生が逝去されました。ここに謹んで哀悼を表し、在りし日を  
偲んでご冥福をお祈りいたします。下記の文で人なりをご紹介します。

桑原節夫先生 2012年6月17日

中野智行先生 2012年6月30日

## 弔 辞

### 桑原先生

先生の突然の訃報に言葉ありません。必ず元気になって戻って来られると信じていましたから……。

数年前、脳外科での大手術に耐えられ、自宅でのリハビリ中にお会いした時も、終始にこやかに対応されるお姿に、日常生活復帰間近か……とうれしくなったものでした。

昨年夏、二度目の脳出血で再入院され闘病生活を送られたことは知っていました。ウカツといえばウカツ、先生にお会いすることもなくただ、入院生活の長さだけを気にかけていたのです。

お聞きしますと、入院中に二度も出血にみまわれたよし、壮絶な闘いを日夜あきらめることなく続けておられたのです。この十ヶ月におよぶ、先生の再起への強いお気持ちを思えば、その悔しさはいかばかりかと思えます。奥さまをはじめ、ご親族の心痛を察するに言葉ありません。

先生は教職を退いた後も、地域のコミュニティーセンターにお勤めのかたわら、全北海道退職教職員の会空知支部事務局長を兼任されることになり、私がそれをお手伝いする役目を担うことになりました。仕事の性質上、互いに意見を出し合い納得するまで検討を重ねながらすすめることとなります。時間が経過し深夜になることも……。そんな時も急がせることなく辛抱強く相手の話を聞いてくれました。

人生後半の短いお付き合いでしたが、先生の純粹で私心のないお人柄にふれることができ幸せでした。私にとっては最も充実した心洗われる日々を過ごさせていただいたと感謝しております。ありがとうございました。

ゆるぎない平和への思い、働く人々への連帯と暖かいまなざしを兼ね備えた先生が穏やかな語り口調う希望を綴る文は先生そのもの。共感をお寄せられた方が多いのはうなずけるものだと思います。在任中機関誌に寄稿された「慰安婦」問題の連載は、最後のメッセージになりました。大切に受け継ぎます。

桑原先生

私たちは、「ひとりぼっちをつくらない、会員一人一人をしっかりと支え合おう」を合い言葉に、実践された先生の意志を継ぎ、先達の遺産に学びながら、より豊かに発展させるよう力をそそぎたいと思います。

先生 安らかに眠りください

2012年6月20日 全北海道退職教職員の会 会員 梅津 守